

4 笠岡っ子の育成に関する事業

実施事業	一貫教育推進事業（学校教育課・教育総務課）
総事業費	16,941,389円
ふるさと納税充当額	14,700,000円

市内に3名配置された小中一貫教育コーディネーターを核として、各中学校ブロックの小中一貫教育推進体制を整えました。

そして、子供たちが今以上に「分かった」「できた」という喜びを味わうことができる授業を目指すために、義務教育9年間を貫く系統的・継続的指導計画「小中一貫教育カリキュラム」を編成しました。

また、学校・家庭・地域の3者が一体となった小中一貫教育の推進に向けて、「学校運営協議会の設置等に関する規則」の改正を行い、中学校ブロックに1つの学校運営協議会を設置する体制を整えた。文部科学省のCSマイスターによる研修会も開催し、管理職の意識の高揚も図りました。

実施事業	子ども医療費給付事業（市民課）
総事業費	160,283,830円
ふるさと納税充当額	43,000,000円

子どもの疾病の早期発見と早期治療を促進し、健康の向上と健全な発育に寄与するとともに、子育て世帯の経済的負担の軽減を図れるよう、子どもの医療費を助成しています。

対象年齢は、通院・入院ともに中学校修了前までとしておりましたが、平成30年度からは、入院について高等学校修了前まで対象年齢の拡大を行っています。

実施事業	幼児教育・保育無償化に伴う給食費給付費（こども育成課）
総事業費	4,667,152円
ふるさと納税充当額	4,150,000円

国の幼児教育・保育無償化制度の対象とならない第3子以降の児童にかかる副食費を免除・助成することにより、多子世帯の経済的負担を軽減することができました。

延べ1,559名分の副食費を助成しました。

実施事業	スクールボート棧橋修繕事業（教育総務課）
総事業費	1,650,000円
ふるさと納税充当額	1,600,000円

島しょ部から神島外小学校・中学校へ通学する児童・生徒の安全を守るため、老朽化していたスクールボート浮棧橋の修繕工事を行いました。

実施事業	指導充実事業支援員賃金（学校教育課）
総事業費	41,340,930円
ふるさと納税充当額	11,000,000円

通常学級や特別支援学級において、配慮を要する園児・児童・生徒の支援をおこなうことで担任をサポートするため、幼稚園3園に3名、小学校10校に31名、中学校5校に9名を配置しました。

実施事業	教員業務アシスタント配置事業（教育総務課）
総事業費	28,681,800円
ふるさと納税充当額	20,000,000円

教員業務アシスタントを小学校13校，中学校6校に配置することにより，教員の事務作業等の負担を軽減し，子どもたちに向き合う時間を確保するなど，本来の業務に専念することで学校現場の教育体制を充実させました。

配置校（兼務含む）

小学校：笠岡小学校，中央小学校，今井小学校，金浦小学校，城見小学校，陶山小学校，大井小学校，吉田小学校，新山小学校，北川小学校，大島小学校，神内小学校，神島外小学校

中学校：笠岡東中学校，笠岡西中学校，金浦中学校，新吉中学校，大島中学校，神島外中学校

実施事業	ICT支援員配置事業（学校教育課）
総事業費	52,800,000円
ふるさと納税充当額	27,000,000円

笠岡市教育ネットワーク等をさらに活用するために，ICT支援員9名を配置し，月延べ150回訪問して支援します。その中で，ICT機器を使用した授業の支援をはじめ，機器のメンテナンス，各校HPの作成の補助，校務支援システムの講習等，ICT支援員によるサポート体制を確立しました。

実 施 事 業	I C T 環 境 整 備 事 業 (学 校 教 育 課)
総 事 業 費	4 4 , 6 9 7 , 4 9 2 円
ふるさと納税充当額	2 0 , 0 0 0 , 0 0 0 円

国の『平成 30 年度以降の学校における ICT 環境の整備方針』に基づき、「学習者用コンピュータを 3 クラスに 1 クラス分程度整備」「超高速インターネットの 100%整備」「教師の ICT 活用指導力の改善」を行い、コンピュータや情報通信ネットワークなどの情報手段を活用するために必要な環境を整え、これらを適切に活用した学習活動の充実を図りました。